



復活した「一円電車」を乗車する来場者

し、地元住民や鉄道ファンらが懐かしい車両の乗り心地を楽しみました。

このほか、あけのベドームでは、「懐かしのヤマの写真展」と題し、昭和初期から閉山までの明延の生活や鉱山の様子や住民に持ち寄ってもらった明延の町並みを写した写真230枚を展示。また、明延鉱山探検坑道見学会やミニコンサート、喫茶「一円電車」の1日営業など、たくさんのイベントが行われました。来場者は、イベントを通じて、かつての鉱山の町のにぎわいを偲びました。

明延区の中尾一郎区長は「ご協力いただいた皆様のおかげで、イベントが成功したことに感謝します」と、イベントの成功を喜んでいました。

今年は、日本一のスズ鉱山として栄えた明延鉱山の閉山から20年目となることから、「ふるさと明延まつり」が11月4日に開催され、2000人を越える来場者でにぎわいました。

このイベントは、採掘当時のことを知っている方の「再会」と、歴史的産業遺産として見直されつつある鉱山の魅力との新たな「出会い」をテーマに、明延区民を中心とした実行委員会で企画および実施したものです。

イベント最大の見ものは、「明神電車」（通称「一円電車」）の1日限りの復活運行で、明延振興館に保管、展示されていた客車「くろがね号」が約30分の仮設レールの上を走行

「明延鉱山」閉山20年記念イベント 「ふるさと明延まつり」一円電車が復活



全国各地からの来場者でにぎわいました（もちまきの様子）



▲大会で見事な成績をおさめた八鹿剣友会

▶個人戦小学生高学年の部で準優勝に輝いた小田亨さん



剣道大会で見事な成績おさめる

11月11日、八鹿総合体育館で第20回岩旗杯青少年練成剣道記念大会、八鹿剣友会設立50周年記念大会（八鹿剣友会主催）が行われました。

今大会に出場した八鹿剣友会、大屋剣友会の剣士は、毎週2日間の厳しい稽古の成果を発揮して、見事な成績をおさめました。

団体戦小学生の部では、八鹿Aチームが順調に勝ち上がり、決勝戦で宝塚チームを破って見事に優勝。個人戦小学生低学年の部では大本雅也さん（八鹿剣友会）が、同じく小学生高学年の部では小田亨さん（大屋剣友会）が準優勝に輝きました。さらに、個人戦中学生女子の部では才木由衣さん（八鹿剣友会）が4位に入賞しました。